

用語解説

アルファベット・数字

用語	解説
AI	Artificial Intelligence(人工知能)の略。人の知的活動をコンピュータプログラムとして実現すること。
DV	Domestic Violenceの略。配偶者など親密な関係にあるものからの暴力のこと。
GDP	Gross Domestic Product(国内総生産)の略。一定期間に国内で産出された付加価値の総額のこと。
GIGAスクール	GIGAはGlobal and Innovation Gateway for All(すべての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉)の略。小中高等学校などの教育現場の1人1台の端末環境と教育のICT化を推進する文部科学省の取組のこと。
I LIVE IN TSUKUBAMIRAI.	2019年11月に公開された、「100年間、愛される地元をつくろう。」をコンセプトとするつくばみらい市のスローガンのこと。
ICT	Information and Communication Technology(情報通信技術)の略。通信技術を活用し情報や知識を共有する産業やサービスの総称のこと。
MaaS	Mobility as a Service(サービスとしての移動)の略。地域住民や旅行者一人ひとりの移動ニーズに対応して複数の交通手段を組み合わせ、一括検索・予約・決済を可能とするサービスのこと。
NPO	Non-Profit OrganizationまたはNot-for-Profit Organization(非営利組織)の略。政府や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体のこと。
OECD	Organisation for Economic Co-operation and Development(経済協力開発機構)の略。貿易・資本の自由化、発展途上国の援助、経済政策の調整などを目的とした機構のこと。
RPA	Robotic Process Automation(ロボットによる業務自動化)の略。人が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化すること。
SDGs	Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。
SNS	Social Networking Service(会員制交流サイト)の略。登録された利用者同士で交流するWebサイトの会員制サービスのこと。
STEAM教育	Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・ものづくり)、Art(芸術・リベラルアーツ)、Mathematics(数学)の5つの単語の頭文字を組み合わせた造語で、理数教育に創造性を合わせた教育理念のこと。
VR	Virtual Reality(仮想現実)の略。デジタル技術を応用し、仮想的世界を現実のように体感しようとする考え方や技術のこと。
3R	Reduce(リデュース。削減)、Reuse(リユース。再利用)、Recycle(リサイクル。再資源化)のこと。
8050問題	80代の親と長期引きこもりなど事情を抱える50代の子どもが社会的に孤立することによる、収入や介護に関する問題のこと。

あ行

用語	解説
青色防犯パトロール	警察より認定を受けた団体が、車に青色回転灯などをつけて行う自主防犯パトロールのこと。
空き家バンク	空き家を提供する所有者などから申込みを受け、移住者などに対し紹介する制度のこと。
移動スーパー	自動車で商品を運び、住宅を定期的に巡回する販売形態のこと。
イノベーション	それまでになかった技術や仕組みを打ち出すことで既存の仕組みやあり方を一変させ、社会にインパクトのある革新や変革をもたらすこと。
医療費適正化	自治体が医療関係者や保険者の協力をもとに、医療保険制度の持続可能な運営のため、医療費の適正化を行うこと。
インナープロモーション	市民や企業にまちの魅力を伝えることで、市民が市に愛着や誇りを持てるよう、市民に向けて行われるプロモーションのこと。
オープンデータ	インターネットなどを通じて誰もが自由に加工、編集、再配布などができるよう、一定の決まりのもと、公開されたデータのこと。
おやか・まるまるサポートセンター	みらい平市民センターに設置された、妊娠・出産期から子育て期までの切れ目ない支援を行う家庭児童相談センターのこと。

か行

カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて全体として合計を実質的にゼロにすること。
介護予防	要介護状態になることをできる限り防ぐ(遅らせる)こと。要介護状態であっても、状態がそれ以上に悪化しないようにすること。
家庭教育学級	市立幼稚園、市立小学校及び市立中学校を拠点とし、保護者が学習したいことを自ら企画、開設する学習の場のこと。
基礎自治体	行政区画の単位の1つで、日本では東京23区と市町村のこと。
給水施設	井戸や河川などの自己水源から、導管その他の工作物により、水を人の飲用に適する水として供給する施設のこと。
給水人口	給水区域内に居住し、水道によって給水を受けている人口のこと。
協働	何らかの目標を共有した複数の主体が、力を合わせてともに活動すること。
きらくやまふれあいの丘	つくばみらい市神生にある総合福祉施設のこと。
クラウドファンディング	インターネットを使い、不特定多数の出資者から資金を調達する仕組みのこと。
グローバル化	政治・経済・文化などが国境を越えて世界的規模に広がること。
ゲートキーパー	自殺を考えている人のサインに気づき、適切な対応をとることができる人材のこと。
健康増進事業	健康教育や健康相談、健康診断、各種検診など、市民の健康保持・増進を図ることを目的とした事業のこと。

用語	解説
広域幹線道路	幹線道路のうち、広域的な都市間の連絡を主に担う道路のこと。
公共施設里親制度	一定区画の公共の場所を養子に見立て、市民が里親となって養子の美化(清掃・除草など)を行い、行政がこれを支援する制度のこと。
コーディネート	物事を調整して、全体をまとめること。
国内総生産	一定期間に国内で産出された付加価値の総額のこと。GDP。
コミュニティスクール	保護者をはじめとした地域住民と学校などで意見を交換し、学校運営に意見を反映させる制度。
コミュニティバス	地域の交通空白地域や不便地域の解消など、地域住民の利便性向上のために、地方公共団体などが主体となって、一定地域を運行するバスのこと。
コンパクトシティ	高密度で近接した開発形態、公共交通機関でつながった市街地、地域のサービスや職場までの移動の容易さなどの特徴をもつ都市構造のこと。

さ行

再生可能エネルギー	永続的に利用できる太陽光、風力、水力、地熱など自然界に存在するエネルギーのこと。
財政健全化	地方公共団体が財政の収支状況を改善し、公債残高を削減すること。
サプライチェーン	製品の原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、物流、販売を通じて消費者までつながる一連の流れのこと。
産官学連携	企業、大学などの教育・研究機関、地方公共団体が連携して、新規事業創出や新規技術の研究を行うこと。
市街化区域	都市計画区域のうち、既に市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図る区域として、都市計画で指定した区域のこと。
市街化調整区域	都市計画区域のうち、市街化を抑制すべき区域として、都市計画で指定した区域のこと。
自治体DX	デジタル技術やAIなどの活用により住民の利便性向上や行政の業務効率化を図るなど、行政サービスの向上につなげること。
指定管理者	地方公共団体が設置した公共施設を、指定を受けた企業や団体などが管理・運営を行う制度、またその指定を受けた団体のこと。
シティプロモーション	地域の資源や魅力を確立し、効果的にPRすることで経営資源の獲得を目指すこと。
市民活動まちづくりセンター	みらい平市民センター3階にある、社会貢献活動のための公益的な市民活動を支援し、市民協働のまちづくりを推進するための施設のこと。
出生率	ある一定の人口に対する出生数の割合のこと。
消防水利	消防活動を行う際に利用される水資源や水利施設のこと。
人生100年時代	先進国を中心に長寿命化が急激に進んだことで、これまでとは異なる新しい人生設計が必要となることや人生の多様化のこと。

用語	解説
水道法	公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的として、上水道事業について定められた法律のこと。
すこやか貯筋教室	元気なシニア世代を中心とした、元気で自立した生活を送れることを目的とした介護予防事業のこと。
スポーツ活動実施率	成人の週1日以上運動・スポーツの実施率のこと。
スマートインターチェンジ	主にETC技術を活用した自動料金収受方式により、料金所の無人化、分散化を可能としたインターチェンジのこと。
スマート自治体	手続の電子化、職員の事務負担軽減、ICT活用などにより、持続可能な形で行政サービスを提供する自治体のこと。
スマート農業	ロボット技術やICTを活用し、省力化・精密化や高品質生産を推進する新たな農業のこと。
生活困窮者自立支援法	経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある人を対象とした就労支援の強化などについて定めた法律のこと。
青少年健全育成活動	子どもたちの健やかな成長のために、子どもたちの安全を守り、子どもたちにあいさつや声掛けを積極的に進めていくことなどを通して豊かな人間性を育む活動のこと。
ゼロカーボン(シティ)	2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする脱炭素化の取組のこと。また、脱炭素化の取組を推進する自治体のこと。
総合型地域スポーツクラブ	種目・世代・技術レベルに応じて、それぞれのスタイルで活動できる、地域住民が主体となって運営するスポーツクラブのこと。

た 行

男女共同参画	男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受し、共に責任を担うことができる社会を目指すこと。
地域幹線道路	幹線道路のうち、県内の主要な都市の交通を主に担う道路のこと。
地域公共交通活性化再生法	地域の公共交通維持のため、自治体が体制づくりに義務を負うことなどを定めた法律のこと。
地域コミュニティ	地域住民が住んでいる場所に関わり合いながら、住民相互の交流が行われている地域社会のこと。または、そのような住民の集団のこと。
地域主権改革	地域住民が責任をもって、地域のことを決められる地域社会の創生を目的として行われる行政改革のこと。
地域生活支援事業	障がい者や障がい児が自立した日常生活や社会生活を送れることを目的とした福祉事業のこと。
地域体操クラブ	高齢者の運動機能の維持・向上や仲間作り、閉じこもり予防などを目的とした介護予防事業のこと。
地域包括ケアシステム	在宅の介護や生活支援を必要とする方々に対して、保健・医療・福祉のサービスを組み合わせ、一人ひとりに最も適した形で提供する仕組みのこと。

用語	解説
地域包括支援	地域に住む人々の保健医療の向上や福祉の増進を包括的に支援することを目的とした活動のこと。
地域包括支援センター	保健師などの専門職が連携し、市、医療機関、介護事業者、ボランティアなどと協力しながら高齢者の相談に対応する機関のこと。
地産地消	地域で生産された農産物などを地域で消費すること。
治水	水害や土砂災害などから地域を守るために、水が持つ危険性の制御を目的として行われる事業のこと。
地籍調査	一筆ごとの土地について、所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査のこと。
地方分権改革	地域住民にとって身近な行政を地方公共団体が担い手となり、地域住民とともに地方行政の協働を目指す改革のこと。
デマンド乗合タクシー	事前予約により、複数人が乗り合い、それぞれの希望する場所から目的地までドアツードアで移動できる、利便性の高い公共交通のこと。
都市計画道路	都市の骨格を形成し、安心で安全な市民生活と機能的な都市活動を確保するために、都市計画法に基づいて都市計画決定された道路のこと。
都市再生特別措置法	都市の国際競争力や防災機能の強化、コンパクトで賑わいのあるまちづくりを目的とした民間事業者を主とする都市再生事業を行うことを目的として定められた法律のこと。

な 行

ニュータウン	加速する都市への一極集中に対する対策として、郊外に新しく建設された市街地のこと。
農業生産基盤整備	生産性の向上とともに農村環境の整備、地域活性化などを目的とする農地基盤の整備のこと。
農業農村環境保全活動	生態系や生物多様性の保全、美しい景観の形成のための活動のこと。

は 行

バーチャル	コンピュータ技術により生み出される実体を伴わない状態のこと。
パラダイムシフト	思考や概念、規範や価値観が、枠組みごとに移り変わること。
病院バス	市外の総合病院への送迎のために運行しているバスのこと。
ふるさと納税	都市部と地方の格差をなくすために開始された寄附金税制であり、都道府県や住民登録をしていない市区町村への寄附のこと。
防災アプリ	平時からの「市からの情報発信」、防災に活用できる機能を備えた「つくばみらい市防災」アプリのこと。
防災基盤整備	防災施設などの耐震化や防災施設・防災拠点などの整備を推進することで、災害に強いまちづくりを目指すこと。
防災ハザードマップ	河川管理者が作成する浸水想定区域図をもとにして、浸水想定区域や洪水予報などの伝達方法、避難場所などを市民に分かりやすく示した地図のこと。
圃場環境整備	土地生産性や労働生産性向上を目的に行われる農地の環境条件を整備する事業のこと。

ま行

用語	解説
みらいマラソン	2017年から実施されている、つくばみらい市内で開催されるマラソン大会のこと。
みらいりんぞう	2015年につくばみらい市の市政施行10周年を記念し、誕生したイメージキャラクターのこと。

や行

より良い暮らし指標	OECD(経済協力開発機構)が設定した、人々の幸福度を測定するための指標のこと。
-----------	--

ら行

ライフライン	生活・生命を維持するための水道・電気・ガス・通信などのインフラ設備のこと。
立地適正化	生活に関するサービスを提供する施設と住居などがまとまって立地するように行う土地利用の誘導のこと。
リモートワーク	会社のオフィスに出社することなく、それ以外の場所で仕事する働き方のこと。

わ行

ワーク・ライフ・バランス	仕事と仕事以外の生活との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。
--------------	---